

米づくり・ミシンでの授業を通じた地域の方との交流

1 目的と経緯

禾生第二小学校では、長きにわたり総合的な学習の時間の取り組みとして、学区内の小形山にある水田をお借りして、地域の方々の指導を受けながら、田植えから精米までの一連の米づくりの体験を行っている。今年度は、小5・6年の家庭科の授業の中で、地域の方を講師に招いてミシン講座を行った。

2 内容

◎5年生による米づくり

- ・5年生の総合的な学習の時間で米づくりを実施。
12名の地域の方が講師としてかかわった。
- ・田植え、草取り、鳥よけ、稲刈り、脱穀、精米までの過程を体験した。
- ・最後に、お世話になった方々と精米したお米で給食を一緒に食べて感謝の会を行った。



◎5・6年生の家庭科によるミシン講座

- ・5, 6年生の家庭科の中でミシンを扱うため、
10名の地域の方が講師としてかかわった。
- ・ミシンの使い方から、実際に裁縫作業を行い、
ティッシュケースとマルチ巾着を作成した。



3 成果

- ・自分たちの手で育てたお米を収穫することで、食べ物大切さや農家の方の苦労を実感する機会となった。また、食と命のつながりを感じる貴重な体験となった。
- ・ミシンに来た講師の方からは、子どもたちとかかわれたこと、来年もまた講師としてかわりたいという思いをもつなど、来年度以降も継続して行っていきたい。